

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社スターフライヤー 上場取引所 東
 コード番号 9206 URL <https://www.starflyer.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 町田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 南 聰子 TEL 093-555-4500
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	33,174	3.5	419	△70.5	△259	—	△90	—
2025年3月期第3四半期	32,056	8.3	1,422	—	2,114	588.7	2,022	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△24.14	—	—
2025年3月期第3四半期	565.13	534.30	534.30

(注) 2026年3月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	34,525		4,732		13.7	
2025年3月期	24,531		4,293		17.4	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,721百万円 2025年3月期 4,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,650	4.1	900	△26.9	300	△84.5	300	△84.4	92.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	3,784,076株	2025年3月期	3,600,390株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	443株	2025年3月期	443株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	3,765,715株	2025年3月期3Q	3,579,200株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

B種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間において、従来よりも座席数の多い新型機を導入したことにより、自社提供座席キロは1,224百万席・km（前年同期比1.8%増）となり、有償旅客数は1,243千人（前年同期比3.0%増）、座席利用率は81.7%（前年同期比1.2ポイント増）となりました。

この結果、当社の当第3四半期累計期間における航空運送事業収入は33,096百万円（前年同期比3.5%増）となりました。また、附帯事業収入は77百万円（前年同期比17.0%減）となり、これらの結果として、当第3四半期累計期間の営業収入は33,174百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

費用面につきましては、定期整備引当金繰入額が当第3四半期累計期間に新型機の導入などにより増加したことに加えて、前年同期の定期的な見直しにより、一部について取り崩しを行った反動で、事業費ならびに販売費及び一般管理費の合計である営業費用は32,754百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

これにより当第3四半期累計期間の営業利益は419百万円（前年同期は1,422百万円の営業利益）、経常損失は259百万円（前年同期は2,114百万円の経常利益）及び四半期純損失は90百万円（前年同期は2,022百万円の四半期純利益）となりました。

営業利益と経常損失の差異は営業外費用の為替差損547百万円が主たる要因です。為替差損の主な内容はファイナンス・リースにより取得した航空機の外貨建てリース債務が取得時の為替相場から円安に推移したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期累計期間において、航空機を7月にファイナンス・リースにより取得しました。この取引により、仮払消費税等が955百万円増加、リース資産が8,160百万円増加、リース債務（流動負債及び固定負債合計）が8,160百万円増加、リース取引に係る未払消費税が955百万円増加しました。

この結果、当第3四半期会計期間末の流動資産合計は18,375百万円となり前事業年度末に比べ2,049百万円増加、固定資産合計は16,149百万円となり前事業年度末に比べ7,944百万円増加しました。

また、負債合計は29,793百万円となり前事業年度末に比べ9,554百万円増加しました。これは上記のファイナンス・リース取引に加え、定期整備引当金が1,302百万円増加したことなどによるものです。なお、当第3四半期会計期間末の有利子負債残高は11,073百万円となりました。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は4,732百万円となり、前事業年度末に比べ438百万円増加しました。

これは主として、四半期純損失の計上により利益剰余金が90百万円減少した一方で、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ179百万円増加、デリバティブ取引に係る繰延ヘッジ損益が164百万円増加したことなどによるものです。なお、剰余金の処分により資本剰余金が2,674百万円減少し、利益剰余金に振り替えております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、本日（2026年1月30日）に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当社が業績予想の前提として設定していた想定為替レートは1ドル=145円でしたが、2026年12月末の実勢レートは1ドル=156.54円と大幅な円安で推移しております。円安進行に伴い、主として外貨建ての定期整備引当金を円換算したことによる引当金繰入額の増加や新型機のファイナンス・リースに伴う為替差損の増加が損益に対してネガティブな影響を与えました。

これらが通期業績予想に与える為替影響は約1,904百万円であり、当該影響を除いた場合の業績予想数値につきましては営業利益で2,003百万円、経常利益で2,204百万円となっております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,810	10,270
営業未収入金	2,177	2,074
商品	1	2
貯蔵品	688	901
未収入金	1,297	1,786
その他	1,351	3,340
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	16,326	18,375
固定資産		
有形固定資産		
航空機材（純額）	3,995	3,751
リース資産（純額）	451	8,279
その他	1,006	907
有形固定資産合計	5,452	12,938
無形固定資産	751	961
投資その他の資産	2,001	2,250
固定資産合計	8,205	16,149
資産合計	24,531	34,525
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,595	3,563
1年内返済予定の長期借入金	850	729
リース債務	45	689
未払金	1,218	1,187
未払法人税等	413	—
未払消費税等	195	—
契約負債	546	652
賞与引当金	—	54
その他	796	628
流動負債合計	7,662	7,505
固定負債		
長期借入金	1,755	1,288
リース債務	476	8,365
定期整備引当金	10,234	11,537
その他	109	1,096
固定負債合計	12,575	22,287
負債合計	20,238	29,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,895	2,079
資本剰余金	5,308	2,818
利益剰余金	△2,674	△90
自己株式	△1	△1
株主資本合計	4,528	4,805
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△248	△83
評価・換算差額等合計	△248	△83
新株予約権	13	10
純資産合計	4,293	4,732
負債純資産合計	24,531	34,525

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収入	32,056	33,174
事業費	28,148	30,030
営業総利益	3,908	3,143
販売費及び一般管理費	2,486	2,724
営業利益	1,422	419
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	16
為替差益	723	—
貯蔵品売却収入	4	3
補助金収入	12	—
その他	18	1
営業外収益合計	776	21
営業外費用		
支払利息	35	128
支払手数料	27	17
為替差損	—	547
固定資産除却損	0	6
貯蔵品売却損	21	—
その他	0	0
営業外費用合計	84	700
経常利益又は経常損失（△）	2,114	△259
特別利益		
補助金収入	0	—
固定資産受贈益	22	—
特別利益合計	22	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	2,136	△259
法人税、住民税及び事業税	370	139
法人税等調整額	△257	△307
法人税等合計	113	△168
四半期純利益又は四半期純損失（△）	2,022	△90

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があつた場合の注記)

当第3四半期累計期間において、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ179百万円増加しております。

また、剰余金の処分によりその他資本剰余金が2,674百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替えました。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が2,079百万円、資本剰余金が2,818百万円、利益剰余金が△90百万円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費（百万円）	567	847

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社は、航空運送事業を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。また、経営資源の配分の決定や業績評価は、当社全体で行っております。したがって、事業セグメントは単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社は、航空運送事業を主な事業とする単一業種の事業活動を営んでおります。また、経営資源の配分の決定や業績評価は、当社全体で行っております。したがって、事業セグメントは単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。